

## 源氏物語のまちづくり

京都府 宇治市 商工観光課長 木下 賢二

### 1. 宇治市の紹介

- ・ 宇治市の概要（京都府南部に位置し、人口19万人の中核都市）
- ・ 観光政策推進体制（観光係3名、観光協会5名、観光ボランティア）
- ・ 宇治市の特徴（お茶、世界文化遺産、紙幣、硬貨）

### 2. 源氏物語のまちづくりの取り組み

- ・ ふるさと創世事業（平成2年、市民公募による事業選定）
- ・ 紫式部文学賞、市民文学賞の創設（女流作家の登竜門的位置づけ）
- ・ 源氏ろまん事業の取り組み（文学賞表彰式、スタンプラリー、講座開設）  
施設整備の取り組み（各施設をつなぐ「道」の整備、施設整備）  
平成14年3月に「宇治市観光基本計画策定」

### 3. 散策道等の整備

- ・ 歴史街道モデル事業（平成5年に指定）
- ・ 道の整備、（さわらびの道、あじろきの道）
- ・ 宇治十帖モニュメント整備（浮舟、蜻蛉、総角、早蕨等）
- ・ 源氏ミュージアムの開館（瀬戸内先生が名誉館長）

### 4. 今までの成果

- ・ お茶以外の観光資源開発（源氏物語宇治十帖の普及）
- ・ 世界文化遺産との連携（平等院、宇治上神社）
- ・ 源氏ろまんの開催（表彰式、セミナー、スタンプラリー）
- ・ 観光ボランティアガイドの充実（ボランティアの増加、英語の案内）
- ・ 観光客の増加（道等の整備による観光客の増加）

### 5. 今後の課題、取り組み

- ・ 観光客100万人増員計画（400万人を500万人に）
- ・ メディア活用、パッケージ化（キャンペーンの強化、エージェントの協力）
- ・ 新たな観光資源の開発（三室戸寺、万福寺周辺の整備）
- ・ 観光タイアップ（伏見観光協会との連携）
- ・ パークアンドライド（駐車場問題の解決）

## 1. 京都府宇治市の紹介

東西 10.0km  
南北 10.7km  
面積 67.55km<sup>2</sup>  
人口 19万人

観光係 3人  
観光協会 5人  
観光ボランティア(70名)

京都府南部に位置し、人口19万人の京都府下第二の都市。琵琶湖から流れ出る唯一の川である、宇治川は歴史の舞台に幾度となく登場。近年は、鉄道駅が13ヶ所、京滋バイパスの整備により、交通至便の地域となり、観光客誘致には条件が整ってきている。

源氏物語のまちづくり

宇治茶

世界文化遺産

紙幣と硬貨のまち

## 2. 源氏物語のまちづくりの取り組み経緯

平成2年に「ふるさと創世事業」で紫式部文学賞と紫式部市民文化賞を創設。  
ここから源氏物語のまちづくりが始まる

本市の総合計画においても「源氏物語のまちづくり」位置づけ  
ソフト先行からハード整備へ

各施設をつなげる道や施設の整備が始まる

平成14年3月「宇治市観光基本計画」策定  
基本目標5項目 その1つに「観光客を今後10年間で、500万人」

### 3. 散策道等の整備

平成5年に歴史街道モデル事業に指定

源氏物語散策の道整備事業(さらびの道、あじろぎの道)



さらびの道



さらびの道(宇治上神社前)



あじろぎの道



あじろぎの道

### 3. 散策道等の整備

平成5年に歴史街道モデル事業に指定  
源氏物語散策の道整備事業(さらびの道、あじろぎの道)  
源氏物語モニュメント、案内サイン整備



源氏物語モニュメント

### 3. 散策道等の整備

平成5年に歴史街道モデル事業に指定  
源氏物語散策の道整備事業(さらびの道、あじろぎの道)  
源氏物語モニュメント、案内サイン整備

世界文化遺産登録



世界文化遺産 宇治上神社



世界文化遺産 平等院

### 3. 散策道等の整備

平成5年に歴史街道モデル事業に指定  
源氏物語散策の道整備事業(さらびの道、あじろぎの道)

源氏物語モニュメント、案内サイン整備

世界文化遺産登録

源氏ミュージアムの開館



源氏ミュージアム

### 4. 今までの成果

「お茶」以外の観光資源開発

世界文化遺産との連携

源氏ろまんの開催

観光ボランティアガイドの充実

観光客の増加

自治大臣賞表彰



紫式部文学賞シンボルマーク

## 5. 今後の課題、取り組み

500万人の観光客の誘致が大命題

メディアの活用、パッケージ化

新たな観光資源の開発

観光タイアップ（伏見観光協会との連携）

パークアンドライド・コミュニティバス



御静聴ありがとうございました。

宇治市 木下

宇治川花火大会(毎年8月10日開催)

